

まち未来だより

2019 April 4月 発行

宜野湾市基地政策部まち未来課

「まち未来だより」では、普天間飛行場の跡地利用に関する取り組みについてお伝えします。

1. 宜野湾市役所 1F 市民ギャラリーにおいて「パネル展・動画上映」を開催しました！

◆開催目的について

普天間飛行場跡地利用に関し、行政や関係団体のこれまでの活動記録等を展示し、市民の皆さまへ広く情報発信を行うことを目的に開催しました。

【開催概要】

場所：宜野湾市役所 1F 市民ギャラリー
日時：2月18日(月)～3月1日(金) 8:30～17:15
来場者：292名



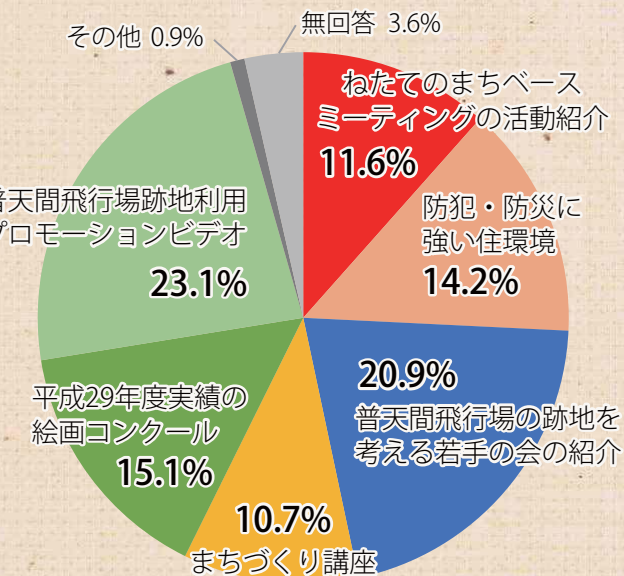
◆開催結果について

来場者を対象に行ったアンケート結果では、普天間飛行場返還後のまちづくりについて、9割以上の方が「興味を持てた」と回答されており、多くの方々に普天間飛行場跡地利用について興味・関心を持っていただくことができました。

今後もこのようなイベントを開催し、普天間飛行場跡地利用について市民の皆さまに広く周知していきたいと考えています。



Q. 今回のパネル展・動画上映で良かったと思う内容を教えてください。



【普天間飛行場跡地利用プロモーションビデオ】



QRコードで簡単アクセス



▶「普天間未来予想図」で検索

普天間 未来予想図 検索

▶ URL を直接入力

<http://www.pref.okinawa.jp/futenma-mirai/>

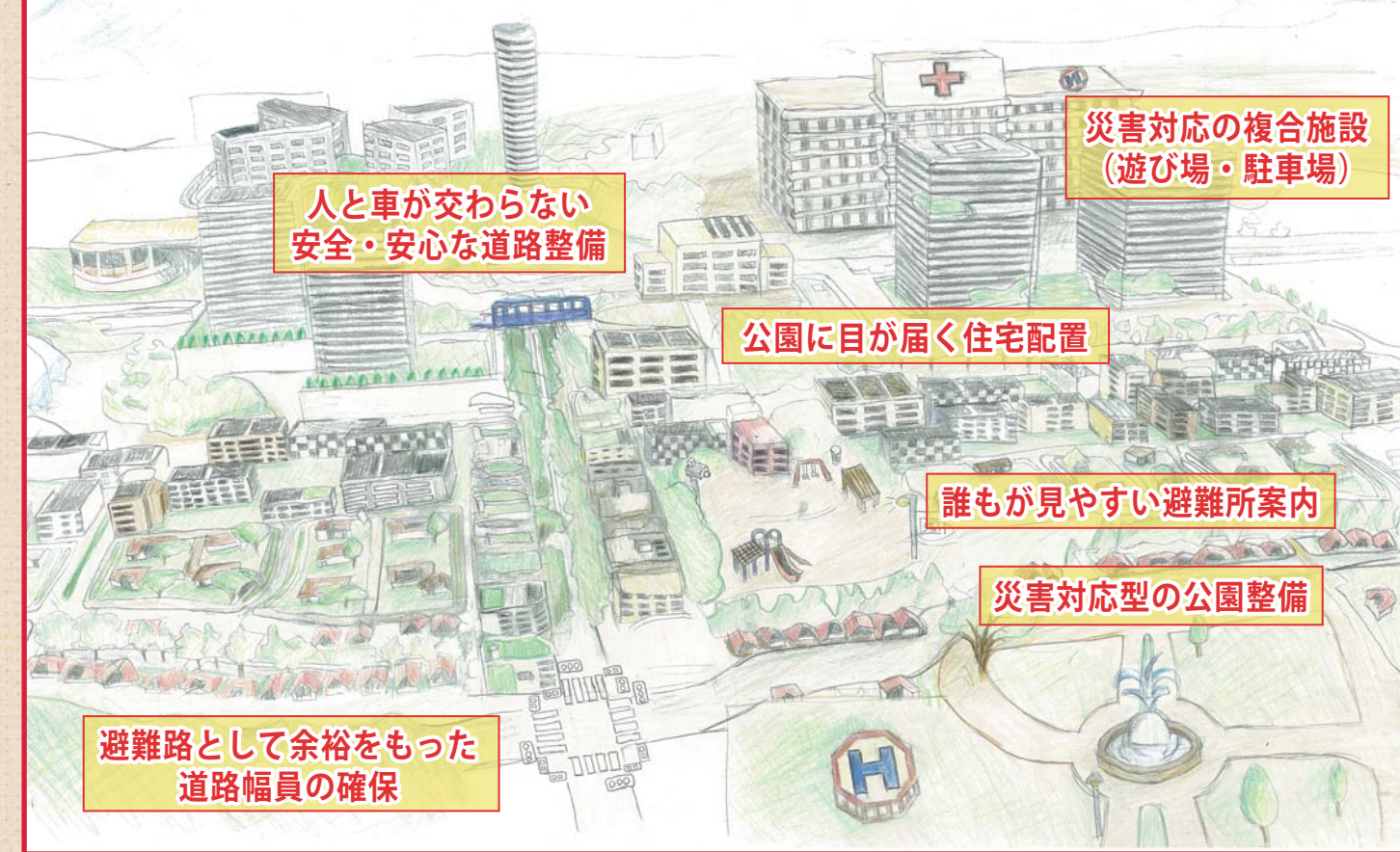
4. NBミーティングの考える「防犯・防災に強い住環境」

今年度の様々な活動を通じて得られた内容をもとに、「防犯、防災に強い住環境」における「まちづくりの主な視点」を取りまとめました。

「まちづくりの主な視点」

道	交通事故や犯罪・災害を防止・軽減する安全・安心な道を考えることが重要です	公園	人が集い、防災機能が充実した公園を考えることが重要です
住宅地	災害に強い建物をつくり、そこに住む人々がコミュニティ形成を図れる住宅地を考えることが重要です	意識	将来を見据えたまちづくりを現時点から意識することが重要です

「防犯・防災に強い住環境」の方針図



【「まち未来だより」発行元】

宜野湾市役所 基地政策部 まち未来課
〒901-2710 沖縄県宜野湾市野嵩一丁目1番1号
電話 098-893-4401 (直通) FAX 098-892-7022

普天間飛行場跡地利用に係る情報は、宜野湾市ホームページや情報提供窓口(宜野湾市基地政策部まち未来課)でも提供しております。情報収集や跡地利用に係る要望・ご意見を述べる場としてお気軽にご活用ください。

◆ 対外的な取組み② (先進地視察会：大阪府岬町 リフレ岬望海坂) のぞみざか



ソフト、ハード両面の防犯対策（WEB カメラ導入や 24 時間警備員の常駐等）を展開している住宅地へ視察に伺いました。

学んだこと
 ⇒イルミネーションの工夫など夜間でも明るいまちは防犯に繋がる
 ⇒犯罪を減らすには、美しいまち並みとコミュニティが大切
 ⇒住民皆でコミュニケーションを取り、まちを守っていく意識が大事

◆ 対外的な取組み③ (子どもから大人まで一緒に考えよう！防災まちづくりワークショップ)

今年度のNBミーティングの活動テーマである「防災に強い住環境」について、市民の皆さまからアイデアや意見を収集することを目的として開催しました。

自然災害について勉強しよう！ 被災時を想定しよう！ 普天間飛行場跡地利用を考えよう！



防災クイズで勉強！ 巨大地図を歩いて自宅や避難所探し グループワークの様子
 場所：宜野湾市中央公民館 2F 集会場 日時：平成31年3月3日(日) 13:00～15:00 参加人数：23名

ワークショップのまとめ

<p>道路</p> <ul style="list-style-type: none"> 発生した地震の位置や規模にもよるが、概ね30～40分程度以内はどこからでも津波から逃げ込める避難ルートを確認 夜間における誘導灯の設置 道路ネットワークの多様化 観光客へ避難ルートなどの周知 	<p>公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘリポートの確保 トイレや釜戸になるベンチの設置 移動式のトイレや授乳室の確保 仮設住宅等が建てられる広さの公園整備 地下水や雨水を溜められる仕組みづくり
<p>建物・施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 震災に強い建物の整備 病院や消防、医療機関・施設の充実 車中泊を想定した大規模な駐車場の確保 台風など、大雨や暴風に強い建物の整備 避難所やエレベーターのバリアフリー化 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害を持っている方への支援の充実 避難生活でのストレス軽減策の検討 車ではなく徒歩での避難周知 跡地住民への協力体制づくり 防災拠点となり得る備蓄量の確保

「NB ミーティング」に参加しませんか？ 参加者募集

日時：毎月第3火曜日 午後7時～午後8時30分 事務局：宜野湾市基地政策部まち未来課
 会場：宜野湾市役所別館3階 第一会議室 連絡先：(098) 893-4401 (直通)
 対象：市内在住、在勤のみなさま メール：kichi01@city.ginowan.okinawa.jp

※日時や会場は変更する場合がありますので、事前に宜野湾市ホームページでご確認ください。

2. まちづくり講座を開催しました！

◆ まちづくり講座とは？

普天間飛行場返還後のまちづくりを進めるにあたっては、地権者だけでなく、市民の皆さまの参加がとても重要となります。そのため、平成30年度よりまちづくりについて学べる「まちづくり講座」を計4回にわたって開催しました。

来年度も引き続き、開催を予定しておりますので、市民の皆さまのご参加をお待ちしています！

第1回 「まちは誰がつくるのか？」
 平成30年 10/13(土) ～普天間飛行場跡地利用に係る合意形成活動の経緯と今後の市民参加の意義～



講師 上江洲 純子様 沖縄国際大学教授

第2回 「これまでの駐留軍用地跡地利用と市民参加型まちづくりの事例」
 平成30年 11/17(土) ～市民がまちづくりに参加しないとうなる？～



講師 池田 孝之様 琉球大学名誉教授 NPO 法人沖縄の風景を愛する会理事長

第3回 「市民参加のまちづくり成功例」
 平成30年 12/15(土) ～市民参加はどのようにして進められたのか～
 事例見学：浦添市仲間地区（仲間自治会）

第4回 「市民参加まちづくり 普天間モデルの考察」
 平成31年 2/23(土) ～駐留軍用地の跡地利用は他人事ではない！～

3. 普天間飛行場跡地利用の市民検討組織 「ねたてのまちベースミーティング」の活動紹介

◆ 活動目的と今年度の取組み

本組織(略称：NB ミーティング)は、周辺市街地のまちづくりを含めた普天間飛行場の跡地利用を市民目線で考え、情報を発信し、基地返還後のまちづくりについて市民の興味・関心を高めるための活動を行っています。

今年度は、市民に身近でわかりやすい内容として、「防犯・防災に強い住環境」をテーマに、他団体との意見交換やワークショップなど対外的な取組みを行いながら検討を行いました。



定例会の様子

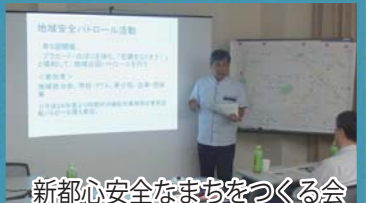
◆ 対外的な取組み① (各種団体との意見交換会)

防犯・防災の専門家や地域で活動されている団体にお話しを伺い、意見交換を行いました。

■ 防犯に関する意見交換会 (H30.10.23) ■ 防災に関する意見交換会 (H30.12.18)



那覇市警察署生活安全課



新都心安全なまちをつくる会



伊佐区自治会



宜野湾市市民防災室

⇒企業や学校等に対するコミュニティ活動への参加協力が大切
 ⇒地域の声掛けや周辺企業の公園清掃・水やりを通じた関わりが犯罪抑制につながる など

⇒見通しの良い広く平らな避難路が最適
 ⇒避難ビルだと認識できる大きな表示板の設置
 ⇒避難誘導表示は見やすく工夫するとともに、多言語化が大切 など